

JIS

熱処理油剤

JIS K 2242 : 2012

(JMFA/JSA)

平成 24 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|---------|----------------------------|
| (委員長) | 土 肥 義 治 | 独立行政法人理化学研究所 |
| (委員) | 穴 澤 秀 治 | 一般財団法人バイオインダストリー協会 |
| | 井 上 進 | 一般社団法人日本化学工業協会 |
| | 今 井 勇 | 日本ゴム工業会 (株式会社ブリヂストン技術センター) |
| | 植 田 新 二 | 一般財団法人化学物質評価研究機構 |
| | 大 石 奈津子 | 財団法人日本消費者協会 |
| | 岡 崎 雅 之 | 公益社団法人自動車技術会 (株式会社本田技術研究所) |
| | 香 山 茂 | 一般財団法人化学研究評価機構 |
| | 河 田 崇 | 独立行政法人住宅金融支援機構 |
| | 佐 藤 浩 昭 | 独立行政法人産業技術総合研究所 |
| | 高 橋 俊 哉 | 社団法人日本塗料工業会 |
| | 田 和 健 次 | 石油連盟 |
| | 松 永 孝 治 | 日本プラスチック工業連盟 |
| | 松 永 直 樹 | 拓殖大学 |
| | 森 川 淳 子 | 東京工業大学 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 40.9.1 改正：平成 24.8.20

官 報 公 示：平成 24.8.20

原 案 作 成 者：全国工作油剤工業組合

(〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-22-9 石橋ビル TEL 03-3553-3019)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 土肥 義治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|----------------------------|-----|
| 序文 | 1 |
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 用語及び定義 | 2 |
| 4 種類 | 3 |
| 5 品質及び性状 | 3 |
| 6 試験方法 | 4 |
| 6.1 試料採取方法 | 4 |
| 6.2 冷却性能試験方法（A 法：表面温度測定法） | 4 |
| 6.3 安定度試験方法 | 10 |
| 6.4 動粘度試験方法 | 13 |
| 6.5 引火点・燃焼点試験方法 | 13 |
| 6.6 水分試験方法 | 13 |
| 7 製品の呼び方 | 13 |
| 8 表示 | 13 |
| 9 熱処理油の取扱いに関する注意事項 | 13 |
| 9.1 一般的な注意事項 | 13 |
| 9.2 取扱い方法 | 14 |
| 9.3 貯蔵方法 | 14 |
| 附属書 A（規定）水溶性焼入液の冷却性能試験方法 | 15 |
| 附属書 JA（参考）JIS と対応国際規格との対比表 | 18 |
| 解 説 | 22 |

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、全国工作油剤工業組合（JMFA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 2242:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

熱処理油剤

Heat treating fluids

序文

この規格は、1994年に第1版として発行されたISO 6743-14及び1995年に第1版として発行されたISO 9950を基とし、国内の実情に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、鉄鋼及びその他の金属の熱処理に用いる熱処理油剤のうち、鉱油を主成分とする熱処理油剤（以下、熱処理油という。）について規定する。

なお、水溶性の熱処理油剤（以下、水溶性焼入液という。）については、冷却性能試験方法だけを附属書Aに規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6743-14:1994, Lubricants, industrial oils and related products (class L)—Classification—Part 14: Family U (Heat treatment)

ISO 9950:1995, Industrial quenching oils—Determination of cooling characteristics—Nickel-alloy probe test method（全体評価：MOD）

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 この規格に基づいて試験を行う者は、通常の実験室での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7410 石油類試験用ガラス製温度計

JIS C 1602 熱電対

JIS C 1605 シース熱電対

JIS C 4003 電気絶縁—熱的耐久性評価及び呼び方

JIS G 0201 鉄鋼用語（熱処理）